



インターネットでの情報提供	
提供予定日	4月16日(水)

平成26年4月15日(火) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
県土整備部河川課	水政係	小栗 丈彦	直通 058-272-8585(内 3726)

県営阿多岐ダムを活用した新たな発電事業 ～改正河川法に基づく本県初となる登録～

近年、小水力発電はクリーンかつ安定的な再生可能エネルギーとして注目されています。この小水力発電を促進するため、平成25年12月施行の改正河川法では、従属発電(※)について許可制に代えて新たに登録制が導入され、手続の簡素化・円滑化が図られました。(※)占用許可(水利権)を受けて河川から取水している農業用水や、河川環境の保全のためにダムから放流している流水などを利用した発電

このたび、治水ダムである県営阿多岐ダムにおける従属発電「阿多岐水力発電所」について、中部電力株式会社から河川管理者の県に対して改正河川法に基づく申請があり、4月11日(金)に本県初の登録を行いましたのでお知らせします。

なお、中部電力株式会社所有の発電ダムである矢作第二ダムの放流水を利用した従属発電「新串原水力発電所」についても登録申請があり、同11日付けで登録を行いました。

記

○発電事業の概要

	阿多岐水力発電所	新串原水力発電所
所在地	郡上市白鳥町中西	おおやな 恵那市串原大築
河川名	阿多岐川	矢作川
利用ダム	阿多岐ダム	矢作第二ダム
ダム管理主体	岐阜県	中部電力株式会社
最大出力	190kw	220kw
最大使用水量	0.70m ³ /s	1.56m ³ /s
年間可能発電電力量	130万kWh (一般家庭の約360世帯分)	170万kWh (一般家庭の約470世帯分)
着工予定	平成26年5月	平成26年5月
発電開始予定	平成27年6月	平成27年6月
施工主体(申請者)	中部電力株式会社	中部電力株式会社
申請日	平成26年2月28日	平成26年2月28日
登録日	平成26年4月11日	平成26年4月11日

○当県のメリット

県営阿多岐ダムの発電事業については、ダムの建設費用及び管理費用の一部を同社が負担するほか、両発電事業の実施に伴い流水占用料の納入もあることから、県としても財政的なメリットが期待されます。

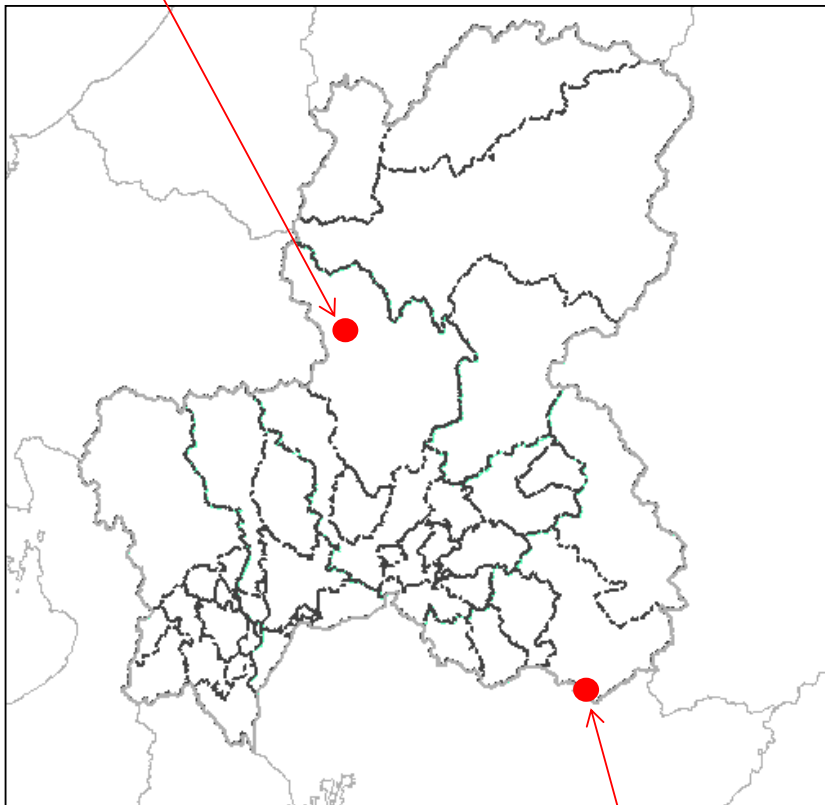
○発電事業を行うダム の位置と写真



ダム の諸元

総貯水容量	2,550 千 m ³
管 理 開 始	昭和 63 年度
位 置	郡上市白鳥町中西地内
目 的	洪水調節、流水の正常な機能の維持

阿多岐ダム



矢作第二ダム

ダム の諸元

総貯水容量	4,354 千 m ³
管 理 開 始	昭和 45 年度
位 置	恵那市串原大築地内
目 的	発電

